

市政を問う

一 般 質 問

第2回定例会の一般質問は、6月17日、18日の2日間行われ、11人の議員が登壇し、市政全般について質問がされました。

一般質問とは、執行機関に対し施策・事業等の現況や将来計画の考え方など、市民に密着した問題をただすため行うものです。各議員の質問と答弁の要旨をお知らせします。

議員名の右側にある2次元コードを読み取ると、録画映像をご視聴いただけます。



印出 慎也 議員



職員待遇改善について

問 市職員が育児休業を取得した際、業務を肩代わりした職員の業務が一時的に増えることで、モチベーション低下を招き、最終的に行政サービスの低下が危惧される。そこで育休取得職員の業務を肩代わりした職員への手当を提案する。市の見解を伺う。

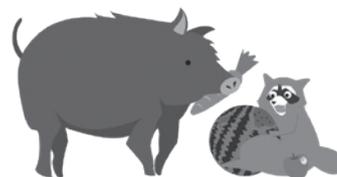
答（総務部長） 福岡市などでは賞与に係る勤勉手当の加算措置として育休応援手当を導入して

いる。業務を肩代わりする職員の意欲向上を図る意味でも、一定の効果があると考ええる。

野生鳥獣等による農作物被害について

問 野生鳥獣等による農作物被害対策として、水戸市やつくば市では電気柵等購入補助金制度を実施しており、古河市でも必要と考える。市の見解を伺う。

答（産業部長） 当該補助金制度は、被害抑制に有効な方法の一つである。国の鳥獣被害防止総合対策交付金の交付要件として、猟友会などの団体の協力を得て、総合的に取り組むことが必要となることから、今後の被害状況を確認しながら関係機関と協議していきたい。



投票率向上について

問 投票率向上に向け、共通投票所の新規設置が必要と考える。仮に導入する場合、想定されるリスクを伺う。

答（選挙管理委員会書記長） 二重投票が懸念され、防止するには、市内投票所とリアルタイムで結ぶネットワークの構築等の整備が必要である。先進自治体の事例を研究し、費用対効果等の課題を整理したい。